

GREEN RANGER NEWS

2020年6月号

Vol.318



NPO 法人蔵王のブナと水を守る会事務局
〒989-0231
宮城県白石市福岡蔵本字滝下102
URL <http://www.zao.org/>
e-mail mail@zao.org

■4月の活動報告

【定例会】4月26日(日)

スマレやコブシが咲きだし、オオヤマザクラも淡いピンクの花びらがほころんで、いよいよ南蔵王に春が巡ってきた。作業小屋前のコゴミは、5月12日の定例会あたりで収穫できそうである。今日は、自然の中でコロナウイルスの喧騒を忘れリフレッシュできた一日だった。

4人の参加者が、樹木の計測や枝打ちの班と、動物生態観察の2班に分かれて作業を行った。樹木の計測は午前中、12日に終わらなかったアナグマの森で行った。8m以上だと思われる木を探し、4mの棒を立てて樹高を測り、8m以上であれば胸高外周を測る。昨年は180本あったが、今年は240本になった。7.5m位の木が多数あることから、来年はかなりの数となりそうである。上を見上げてばかりいたので、首が痛くなったと嘆く声あり。

動物観察班は、午前中に12日にリスの森に設置したカメラを撤去した。調査結果は下記の通り。

目的:トガリネズミの観察

方法:ブナの木の下に米を置いておびき寄せ、自動カメラで撮影する。

期間:2020年4月12日~4月26日

場所:リスの森内ブナ林

結果:トガリネズミは観測されず、ほとんどがカラスに食べられた。

所感:

1)カラス

今回は風の強い日や雪の日もあり、動物観察には適さない天候もあったにもかかわらず、カラスが平然と米粒をつついて食べていたのには感心した。このような天候の日で動物が観測されたことは今までなかった。それにしても、あの大きなくちばしで小さな米粒を食べるのは難儀なことだったと思う。というのは、米を入れた器が固い金属の平らな丸盆だったので、くちばしの先が平らな金属面にぶつかり、食べにくいのである。こちらはカラスをおびき寄せようとは思っていなかったので・・・

2)キツネ

丸盆ににおい付けをして立去り、2日後に再来したのを観測できたことは収穫だった。

3)イノシシ

毛深い体で本来のイノシシに近いのではないかな。

4)金属製丸盆

この容器は天気の良い日は日光の反射光によりカメラが誤写することが判明した。一例をあげると4月15日10時55分から14時7分にかけて3枚の静止画と30秒の動画を連続撮影していた。この結果、3時間12分で11.3[GB]使用していた。これはこのカメラで使用可能な最大メモリーサイズ32[GB]の約1/3を約3時間で使ったことになる。

昼食後は、動物観察班が準備したスクリーンで、作業小屋の流しに現れたヒメネズミを鑑賞した。夜中に小さなネズミが2匹来て、石鹸をかじったり動き回る様子が可愛い。

ホームページにもアップしているので、是非ご覧を。午後も2班に分かれて作業。枝打ち班は、彩遊の森でヤマハンノキやマツの枝打ち。マツはかなり枝を伸ばしていて、伐っても伐っても終わらず次回に持ち越しに。高枝鋸で高い所の枝を何本も伐ったため、腕が悲鳴を上げている(私だけかな?)。

樹木名板班は、新たな樹木名板作成の準備を行った。コロナウイルスが収束したら、みんなで作業をする予定。

作業が終わり、駐車場を出て間もなく大きな虹がかかった。「三密」とは程遠い山仕事の心地よい疲労と、久しぶりの虹を見て、何とも幸せな一日となった。(参加者4名)

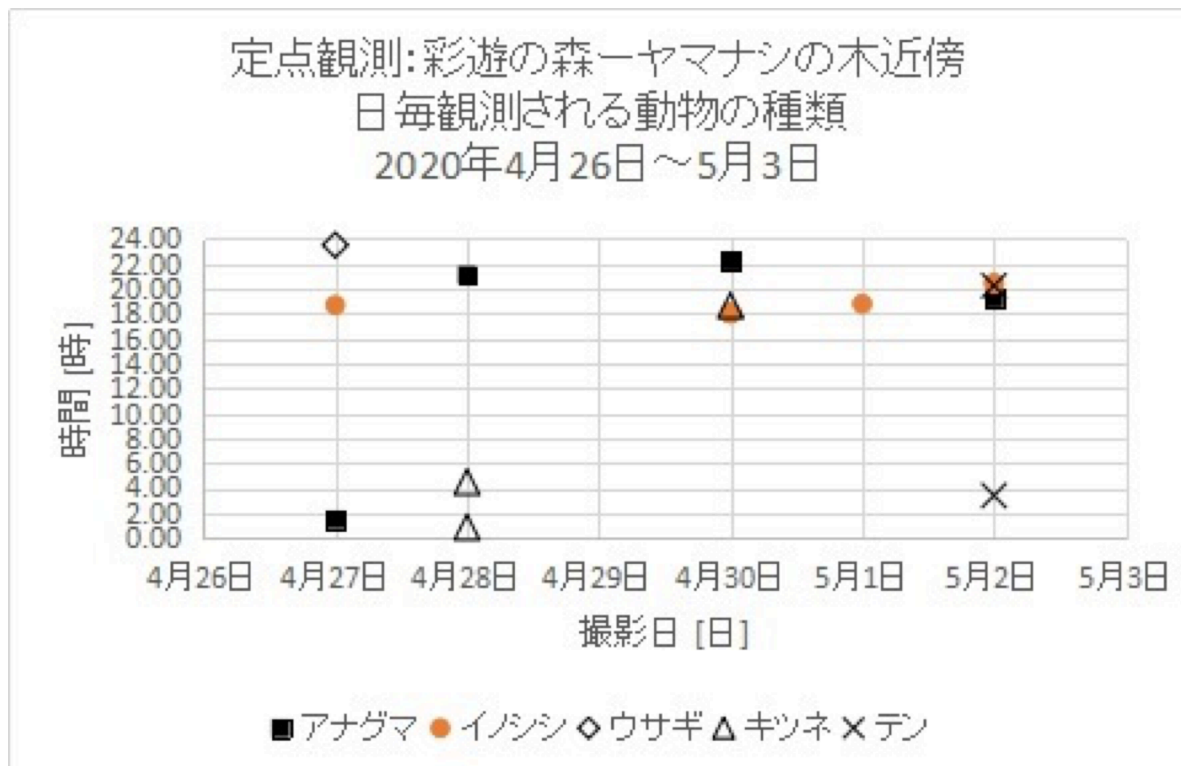
■5月の活動報告

【定例会】5月3日(日)

気持ちよく晴れて温度も高い。(2日は30度を超える暑さとなった)

午前中は2班に分かれて活動。仕事をする班は、3つの森を歩きまわって境界線の確認を行った。蔵王の春を満喫する班は、彩遊の森をゆっくり歩く。足元のタチツボスミレやエイザンスミレ、フデリンドウなどの野草を愛でながら、「こんなに、のんびり歩いたのは初めてだね。」と言い合う。たまには、こんな時間があってもいいなあ。突然、散策路の左右に満開のオオヤマザクラが何本も現れ、まさにサクラ通り。「来年は、ここにベンチを置いてお花見をしたいね。」と盛り上がった。

昼食後は、撮影した動物の鑑賞会。生態観察の結果は次の通り



(所感)

- ・イノシシ:活動時間帯は18時～20時の間が多い。
- ・ウサギ:1度観察されたただけであるが、深夜の12時頃である。
- ・5時から15時の間に観測された動物はいない。
- ・4月26日と5月3日は会の活動日の影響で終日観測されていないと思われる。

午後は、境界線の確認をする班と、山菜取りや動物観察のカメラを設置するなど自由にする班に分かれて活動した。作業小屋前のコゴミを初収穫。来週の定例会あたりが最盛期になりそう。夕食に収穫したコゴミを食べながら、コロナウイルスがなければ、今日は春を食べる日だったことを思い出した。(参加者7名)

【定例会】(散策等)5月10日(日)

作業小屋前でツリーハウスの梯子を作っている。下のも壊れたので新しくするとのこと。早めに出て来て作業してくれたらしく、もう完成した。設置方々、今日予定されている全コース散策へと向かう。

時々小雨。まずはヒカゲスミレが初めて花を咲かせたのに感動。桜はサトザクラ以外は散り始めているが、花よりも目を引き付けるのは若葉たち、特にブナの若葉が輝いて見える。8m 越えに成長している本数が増えてきているのも頼もしい。トチノキやホウノキは上で葉を傘の様に広げ、幼木も下で小さく広げ、何か言いたそう。



昼食後、動物の生態観察の動画をみる。前はキツネがオシッコでマーキングやウンチをする映像を見たが、今回は、待ちに待ったテンの映像を見ることができた。やはり住んでいたんですねえ、日中の姿も見たい！

また散策へ。ヤマナシは満開、ズミはもう少し、カマツカやサワフタギ、バイカツツジ、サルナシなどはまだ、これからが益々楽しみ、メグスリノキの前では黒田官兵衛目薬伝説まで話題にのぼった。参加者：10名

【森の教室】5月24日(日)

アナグマの森に入る。マイナスイオンかは別にして、新緑と透ける淡い光に吸い込まれそうになる。空も見えない程に成長してくれた木々の若葉、これが私たちを生かしてくれているのかと思うと、つい、涙が出そうになる。

それを切り裂くように鋸の音、日陰になり成長を妨げられている木のために不要な枝を切っている。汗だくになり作業終了、イヌザクラの大木の下へ。イヌザクラ・ウワミズザクラ・シウリザクラの花の付き方の違いを学ぶ。

昼食後、動物の生態観察の話になり、前回撮れていたキツネの親子やハクビシンの写真を回し見する。

そして彩遊の森へ、久しぶりにサクラスミレに会う。ツリバナや初々しいワニグチソウ、そしてヤマツツジ・レンゲツツジなどを観ながら、アカシデ・イヌシデ・クマシデなどなど標本採集しながら進む。なんか臭気がただよってきた、この木は何か、コクサギだと言う、成程と納得、早々に離れる。でも、いい一日でした。参加者：8名



■6月の活動案内

[定例会]

開催日 6月14日(日)
集 合 作業小屋 10時
内 容 ヤマハンノキ伐採と片付け

[森の教室]

開催日 6月28日(日)
集 合 作業小屋 10時